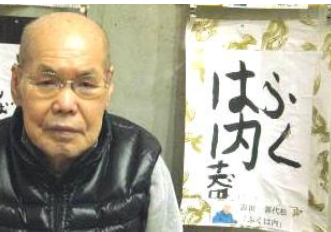


☆私たちの作品が展示されました☆



☆人柄あふれる作品の数々☆
また来年の展示会に向けてがんばろう！



ボランティアさんと一緒に。

<発行>
特別養護老人ホーム
淡路ふくろうの郷
広報委員会
洲本市中川原町
中川原28番地1
TEL:0799-25-8550
FAX:0799-25-8551
ホームページ
<http://www.normanet.ne.jp/~hyoufuku/>

ふくろうの郷では食材に地域で採れた野菜を使っています。今の旬は「1番美味しい時期に」と食卓にも登場します。
何回も「また筍？」と言われる入居者からは「また筍？」と言われる筍が、それでも美味しく食べられることが幸せですね。

ボランティアの方々のご協力の下、書道講座を月に2回開いています。そこで書かれた作品が五色図書館に展示されたので、みんなで見に行きました。

「飾ってある！嬉しい！」
「これ私の！」と自分の作品を見つけて喜ばれたり、「みんな上手だね」「こんな字なのに飾ってもらって…」と謙遜されたり、他の人の作品を見つけて「ここにあるよ」と教えてあげたり、みなさん盛り上がり上がっていました。

これが更なる励みとなり、いつまでも活気あふれる講座が続くといいなと思います。いつもご協力くださるボランティアのみなさん、ありがとうございました！

(介護・田中愛里)

よもぎ摘み・たけのご掘りに行って来ました



▲緑が眩しい裏庭
よもぎを摘みながらカメラ目線 →



帽子が似合う

施設の裏庭によもぎを摘みに行ったり、職員の家の山に筍を掘りに行ったり、みんなで春を謳歌中。
よもぎも筍も、おいしくいただきました☆



▲急斜面もなんのその！



大きなたけのこ

入所者紹介

はた ゆりこ

畠ゆり子さん



▲H22年4月26日
神戸ろうあ協会事務所、
大好きな小巻さんと。

大正8年6月26日
生まれ、91歳の畠ゆり子
さんは、淡路ふくろうの郷へ
は、平成18年4月、開所
と同時に入所されました。
(私とは、25年くらい
の付き合いになります)
神戸におられた時は、
一人暮らしで、コミュニケ
ーションは身振り中心で
したが、近所の人たちと
も、身振り・表情で交じ
りあい、生活力のあるしつ
かりした人でした。ただ、
疎外感は一倍感に
感じるようでした。
年々身体の不調を訴

えられることが多くな
り、一人暮らしの不安が
さらに体調不良を引き
起こしました。だんだん、
在宅での生活が困難にな
つてきて、既存の特別養
護老人ホームのショートス
テイを利用しながら、ふ
くろうの郷の開所を待ち
ました。

私たちは、彼女との出
会いを通じ、高齢聴覚障
害者の様々な生きづらさ
を知ることになりました。
ふくろうの郷建設運動へ
のパワーにもなりました。

入所されてからは、
時々出会うたびに、故郷
(朝来市)への望郷の想
い・神戸へのなつかしさを
口にされますが、おなじ
仲間の中で安心して生
活されているのを見ると、
「もう一人ぼっちじゃない
よ。もっともっと元気で、
仲間の中で長生きして
ね」と心から願っていま
す。

(手話サークル西 小巻)



おちやめな笑顔
(巻寿司作り)

おにぎり食べます!
(BBQ大会) ▼



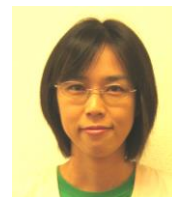
顔を出してみました☆
(淡路島牧場)



▲ざぶとんを作ったよ!(作業)

ふくろうっ子

～第2回～
職員リレー紹介



生活援助員 角村智康が
看護師、渋谷裕子(しぶたにゆうこ)を
紹介します。



3人もお子さんが!!
見えません～

※来月、渋谷さんから
バトンを受け取る職員
は誰でしょう?

3人のお子さんのママで
す。平成19年12月から、
縁あって淡路ふくろうの郷
の看護師として働いていま
す。
最初は手話も全く分か
らず、不安でいっぱいだった
のですが、今は入所者と
も楽しく会話できるよう
になりました。
入所者の健康を守る看
護師として、やりがいのある
毎日を送っている渋谷さ
さん。いつも明るく元気で楽
しい、入所者から人気の
“ママさん看護師”です。

4月26日(月)、神戸に外出しまし
た。親しい仲間たちとたくさんおしゃべ
りをして、とても清々しい表情をされて
いた畠さん。
ふくろうの郷では、いつも食事前のテ
ーブル拭き・お箸並べを手伝ってくださ
います。たまに朝寝坊をして出来なかつ
た時は「ごめんね、ごめんね」と何回も
謝られ、とても優しい人です。
手芸や編み物が得意で大矢施設長
にマフラーをプレゼントされたこともあ
ります。
「次は生まれ故郷の朝来(あさこ)に行こう
ね」僕と畠さんの約束です。(足立)

明石海峡大橋を背景に
セルフトイマーでパシャ～☆



ろう職員に聞く① 介護福祉士試験

今年の1月に一次試験(筆記)、3月に二次試験(実技・一次試験合格者のみ受験可)が行われました。

介護福祉士は、社会福祉士・精神保健福祉士と並ぶ福祉の国家資格のひとつで、お陰さまで私もこの国家資格を取得できました。

「資格を取得するための国家試験にあたって聴覚障害者からみた問題点」で思ったことを以下に述べてみたいと思います。

① 一次の筆記試験では神戸試験場で、私は聞こえる人に混ざって受けましたが、試験開始前の試験官からの口頭説明(注意点など)が聞き取れませんでしたし、試験開始や終了の放送も聞こえず、周りの様子を見ながら受けました。

身体障害者のための受験上の配慮(別枠の部屋で手話通訳等を付けて受験)もありましたが、受験申込の前にその配慮を受けるための手続(身体障害者手帳の写し・医師の診断書等)が必要で、申込締切間際になって申し込んだ私には間に合いませんでした。

② 二次の実技試験では大阪の試験場で行われ、関西圏の一次試験に合格した者が



▲三谷さんと頭蔵さん

が集まっていたのですが、受験前に淡路聴覚障害者センターの協力で、東京の試験センターに耳が聞こえないことを告げて、なんとか配慮してもらいましたが、手話通訳の配置までできないようで、あらかじめ試験会場内を誘導してもらいました。

実技試験で一番困ったことは、「声掛け」でした。モデルさんは健聴者でしたので手話が通じず、身振りやゆっくりとした声で声掛けしながら安全・安楽、自立支援、個人の尊厳を目指して介護しました。幸いモデルさんも試験官も私の身振りや声が分かったようで最後まで頑張れました。

(介護・三谷)



▲今年1月、畑ボランティアで齊藤さん

リレーエッセイ

評議員・齊藤 勇

淡路ふくろうの郷が開所し、早5年目を迎えました。

建設にあたっては、淡路では地元ということもあり、淡路聴覚障害者協会として会員一丸となり、募金活動を頑張りました。

開所後は、入所されているおじいさん、おばあさんに楽しく生き生きと生活していただくこと、ボランティアとして協力しています。

まずは裏の空き地を耕し、野菜を植えました。入所されている方たちの中には若い頃、農業をされた方も多く、経験を生かし、一緒に野菜の植え付けや草取り、収穫を楽しんでもらっています。

収穫した野菜でバーベキューをすることもふくろうの郷の行事として定着しています。

また、従来、淡聴協で参加していた島祭りにも参加してもらおうと、阿波踊りの指導をし、当日は「デフあわじ・ふくろう連」として総勢80名もの連で祭りを盛り上げています。これも恒例の行事となっており、入所されている方たちも毎年楽しみにしてくれています。

その他にも毎月の理髪店や買

物等のボランティアへの協力も行っていきます。

一番大きな行事は秋の「ふくろう・ふれ愛まつり」ですが、会員は実行委員として参加し、当日もテント設営、舞台準備、進行等を担当し、入所者や県下各地から来ていただく方に楽しんでもらおうと精を出しています。

また入所されている方たちも淡聴協の会員になっている方が多く、現在の会員数99名の約3分の1が入所の方たちです。淡聴協としては暮らしやすい社会を作るため、会員の交流や学習会など様々な取り組みを行っています。

が、入所の方にも行事参加の呼びかけ、送迎等の協力も行っています。こうした関わりの中で入所されている方たちの笑顔に接することができ、私たちの励みともなっています。

これからも入所の方たち一人ひとりが、淡路島での生活が良いい、ふくろうの郷の暮らしが楽しいと思ってもらえるよう、淡聴協として協力し、頑張っていこうと思います。

地域を語る

第17回

湯谷薬師堂 関伽水

都志線の薬師前バス停の山側に「四十九番市原やくし 左かうしん(庚申)・先山 右鮎原天神」と記した自然石が立っている。

薬師堂は淡路島四十九番薬師霊場の結願の霊場であり、かつては医王山涌泉寺という七堂伽藍の整った大寺であった。

堂内には、薬師如来を本尊として脇侍に薬師十二神将・不動明王が祭られている。

この不動明王の由来が伝わっている。

昔この村の能澄という者が佛道を志し、良師を求めて江戸に赴き、三十年間の修業を無事成満した。

その時、師僧より授かった守り佛と言う事だ。

ところで、境内に関伽水という名の水が湧き出ており、日本地下水学会に淡路島の名水として紹介されているほどの高名な水である。

本来、関伽水とは、沸様にお供えする水の事を言うのであって、昔はこの水で僧侶達が毎日の物事を行っていたのであろう。

現在の薬師堂は平成七年に地元薬師講の者達を中心となって改修され、境内並びに関伽水の井も整備された。

淡路島の慢性的な水不足にあっても、この関伽水は滾々と湧き出ており、この名水を求めて島内外から多くの人が訪れ、信仰を集めている。

宝来山松栄寺 笹津寛照住職



▲ 関伽水の井

平成22年度 ふくろう手話教室

今年度も淡路ふくろうの地域交流会主催で手話教室を開講します。開講日は5月22日(土)。時間は午後1時30分からです。

申込がまだお済みないみなさん☆ご連絡お待ちしております。今年ものんびり楽しく手話を勉強しましょう。

(担当)三谷・辻

参加すれば、きっとあなたも手話のとりこ。



5月22日(土) PM1:30~開校

青空市・たまねぎ販売

玉ねぎと言えば淡路島。今は玉ねぎの一番おいしい時期ですね。淡路ふくろうの郷では地元中川原町で採れた玉ねぎの斡旋をしています。箱入り5kgと10kgがあります。金額は時価のため、お求めの際は淡路ふくろうの郷までご連絡を。全国発送できます(着払い)。

皮を剥き、味付け少々、丸ごとホイルに包んでオーブンへ。しつかり火が通ればできあがり。今の時期だけ☆淡路島のもつても甘くておいしい「新たま」だからこそできる簡単レシピ。



ひょうご 聴障ネット 総会



総会後は、神戸~三宮間をみんなでアピールパレード



5月9日、神戸市立婦人会館を会場に二〇〇九年度「ひょうご聴障ネット」の総会が開かれました。今総会では、障害者自立支援法は憲法違反だと勇気を出して2年前に国を相手に違憲訴訟を起こし、今年1月には国との基本合意を得て、4月には実質的勝訴とも言える和解勧告を引き出したと言う素晴らしい経験を経験を訴え原告団の当事者の方々より聴くことができました。

総会後にはみんなで元気よく三宮までパレードをし、聴覚障害者福祉の向上をアピールしました。

(事務長:八木)

ふくろう喫茶
5/16(日)
13:00~15:00

ふくろう喫茶で淡路ふくろうの郷の入所者さんと楽しい時間を過ごしませんか。
・コーヒー・ココア・紅茶
・カルピス などなど ¥200 より